

2024年度 環境経営レポート

対象期間 2023年12月01日～2024年11月30日

発行日 2025年1月7日

有限会社 湯本紙器製作所

組織の概要及び対象範囲

- 1) 事業所名 有限会社 湯本紙器製作所
- 2) 代表取締役 山本 建次
- 3) 所在地 長野県中野市大字一本木 328-11
TEL 0269-22-3512 FAX 0269-26-4259
- 4) 環境管理責任者 吉田 紀之
 連絡先 TEL 0269-22-3512 E-Mail yumoto-shiki@gol.com
- 5) 事業活動 ダンボール箱の製造
- 6) 事業内容 地元周辺の生産工場を中心に、小ロット、多品種のダンボール製品を供給する事業。
 素材がダンボール中心のため、ほとんどがリサイクル対象製品となり、廃棄物はゼロに近く、水、廃油等の排出は微量であり環境負荷は少量である。
- 7) 生産量 ダンボール箱等 213.2t
- 8) 事業所の規模 昭和22年(1947年)2月創業
 昭和49年(1974年)法人登録
 令和6年(2024年)11月30日現在 従業員 7名
 総敷地面積 1,550m²
 建物面積 695m²
- 9) 対象範囲(認証・登録範囲) 全組織・全活動

環境理念と環境経営方針

* 環境理念

地球を守るのは私達。環境にやさしい箱を作り続けて60年
四季折々美しさを彩る北信州の大自然を後世に残す為、私達は
企業活動を通じ下記の環境方針を策定しその実現に取り組めます。

* 環境経営方針

地球の温暖化防止のために環境保全につとめます。

- 1) 全従業員が環境への負荷認識をし、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、
水使用量等の削減のため、省資源、省エネルギー、グリーン購入、リサイクル、
節水及び化学物質の適正使用に努め、継続的な環境改善に取り組む。
- 2) 会社業務において5S（整理、整頓、清潔、清掃、しつけ）につとめ
美しい環境を維持する。
- 3) 紙器の設計、製造過程において環境問題に配慮した製品を提案、
提供できる様努める。
- 4) 環境関連の法規制、条例、その他の要求事項を厳守する。
- 5) 全ての社員はこの方針に添い、諸事項を積極的に協力し遂行する。
- 6) 地域社会の一員として地域、社会での環境保全活動に積極的に参画する。

2006年11月6日制定

2013年11月30日改定

有限会社 湯本紙器製作所
代表取締役社長 山本建次

環境経営目標

2021年を基準年として、2023年度から2025年度までの目標を下記のとおり策定し、2022年12月から取り組みを開始する。

項目	単位	中期目標			
		基準値	2023年	2024年	2025年
		2021年実績	0.5%削減	1%削減	1.5%削減
電力使用量	kWh	33208	33042	32876	32710
原単位	kWh/万円	4370	4348	4326	4304
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	15939.84	15860.14	15780.44	15700.74
灯油使用量	ℓ	950	945	941	936
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2365.50	2353.67	2341.85	2330.02
ガソリン使用量	ℓ	1781	1772	1763	1754
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4131.92	4111.26	4090.60	4069.94
軽油使用量	ℓ	3361	3344	3327	3311
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8671.38	8628.02	8584.67	8541.31
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	31476.14	31318.76	31161.38	31004.00
水使用量	m ³	95	95	94	94
ダンボール古紙	t	52.6	52.3	52.1	51.8
ダンボール古紙排出量	%	17.3	17.2	17.1	17.0

環境経営計画

1. 電力使用量の削減

- ・休憩時の消灯
- ・作業環境を整え作業効率の向上
- ・使用外の機器の電源オフ
- ・機器のスピード調節による電力消費を抑制
- ・毎月一回コンプレッサーのフィルターを清掃

2. ガソリン、軽油、灯油の使用量の削減

- ・配送ルート効率化
- ・エコドライブの徹底
- ・車両の燃料使用量の月別測定
- ・暖房使用時の適温化(暖房20度程度)

3. ダンボール古紙排出量の低減

- ・分別、リサイクルの徹底
- ・ダンボールシートの適正な管理
- ・製品ミスの低減

4. 水使用量の削減

- ・節水の呼びかけ
- ・こまめに蛇口を開閉し節水に努める

5. グリーン購入の実施

- ・グリーン購入可能な事務用品の購入

6. 工場内外の清掃、美化に努める

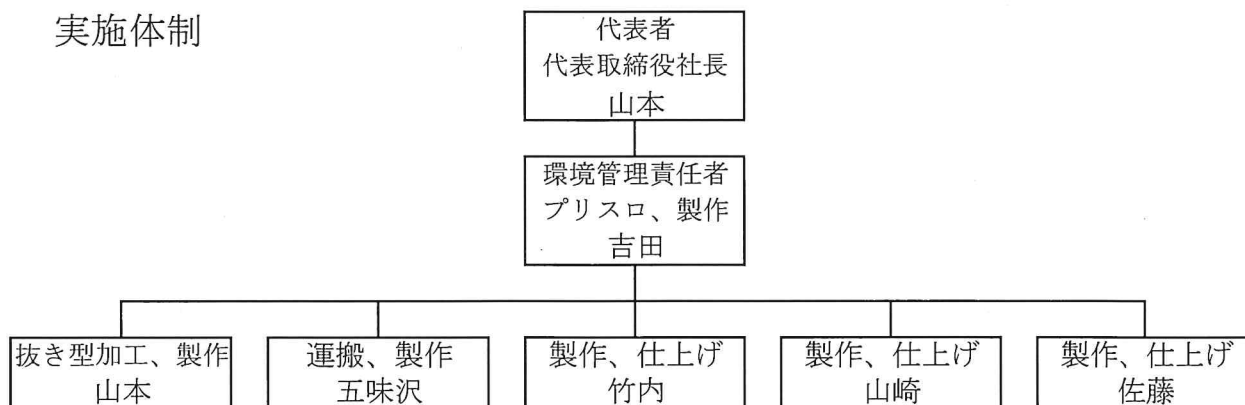
- ・工場内の清掃及び機械の点検、清掃、注油
- ・作業終了後の整理整頓
- ・一般廃棄物の分別を徹底

7. 化学物質の適正使用に努める

環境経営計画に基づき実施した取組内容

取組事項	取組内容
電力使用量の削減	・休憩時の消灯 ・作業環境を整え作業効率の向上 ・使用外の機器の電源オフ ・機器のスピード調節による電力消費を抑制 ・毎月一回コンプレッサーのフィルターを清掃
ガソリン、軽油、灯油使用量の削減	・配送ルートの効率化 ・エコドライブの徹底 ・車両の燃料使用量の月別測定 ・暖房使用時の適温化（暖房20度程度）
ダンボール古紙排出量の低減	・分別、リサイクルの徹底 ・ダンボールシートの適正な管理 ・製品ミスの低減
水使用量の削減	・節水の呼びかけ ・こまめに蛇口を開閉し節水に努める
グリーン購入の実施	・グリーン購入可能な事務用品の購入
工場内外の清掃、美化に努める	・工場内外の清掃及び機械の点検、清掃、注油 ・作業終了後の生理整頓 ・一般廃棄物の分別を徹底

実施体制

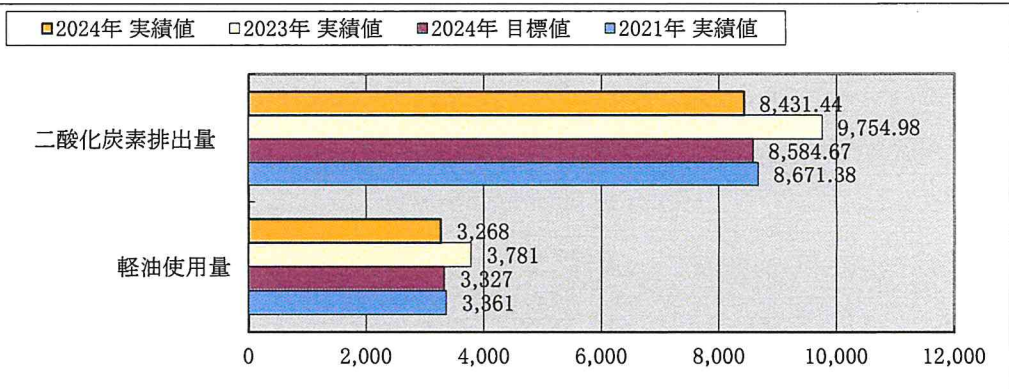
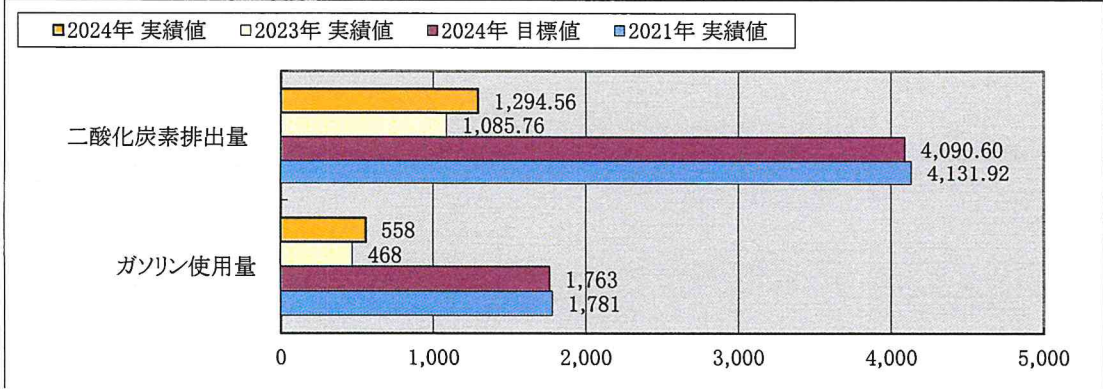
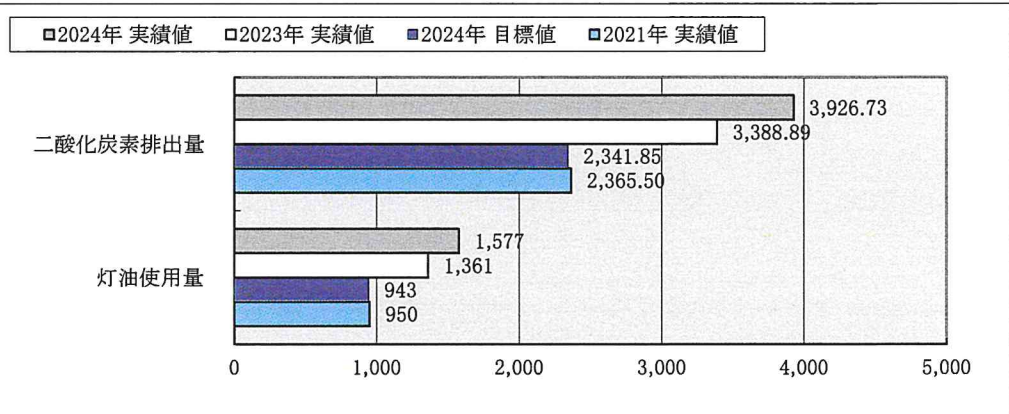
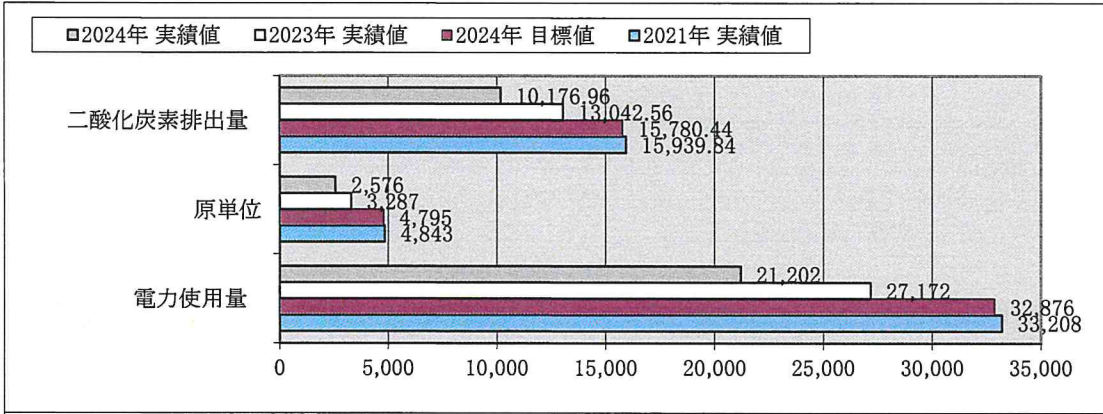


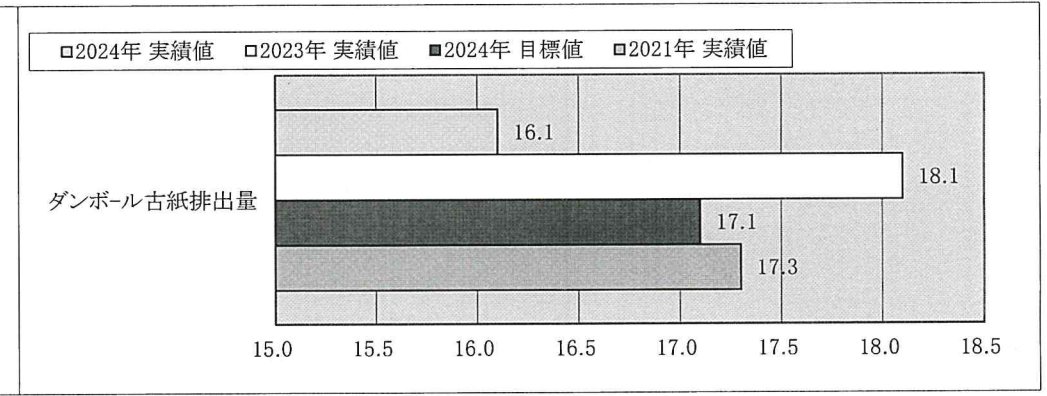
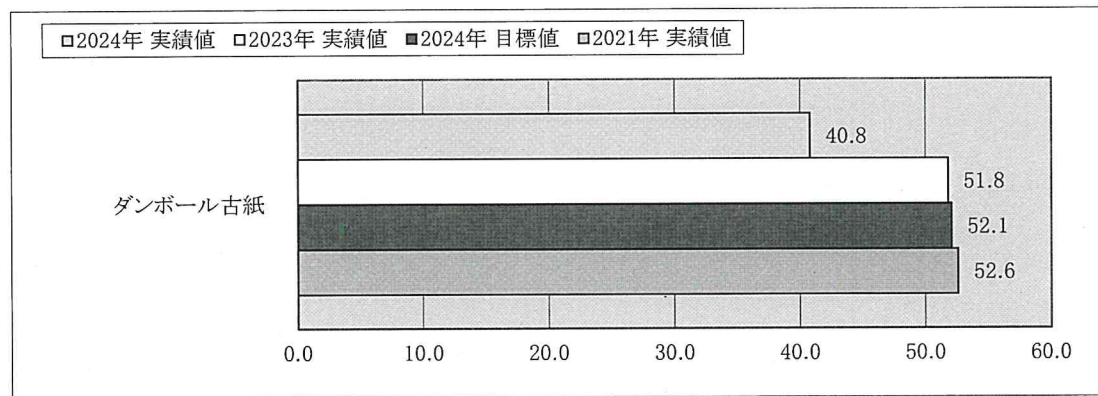
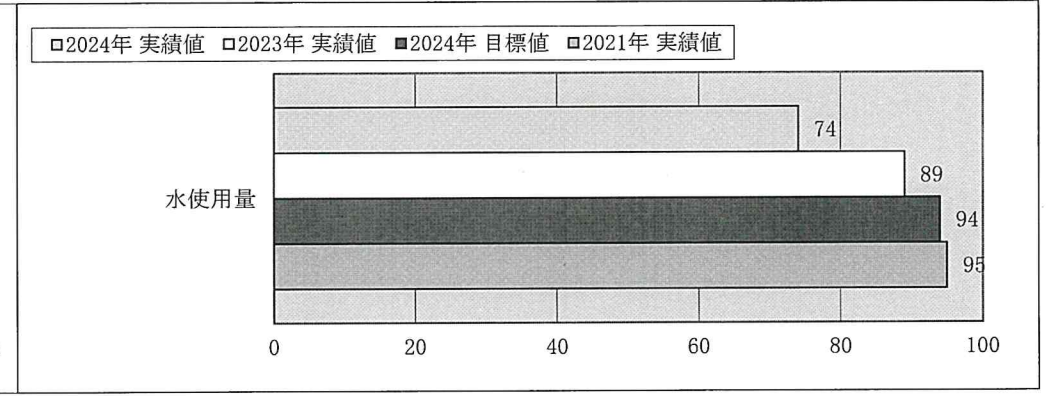
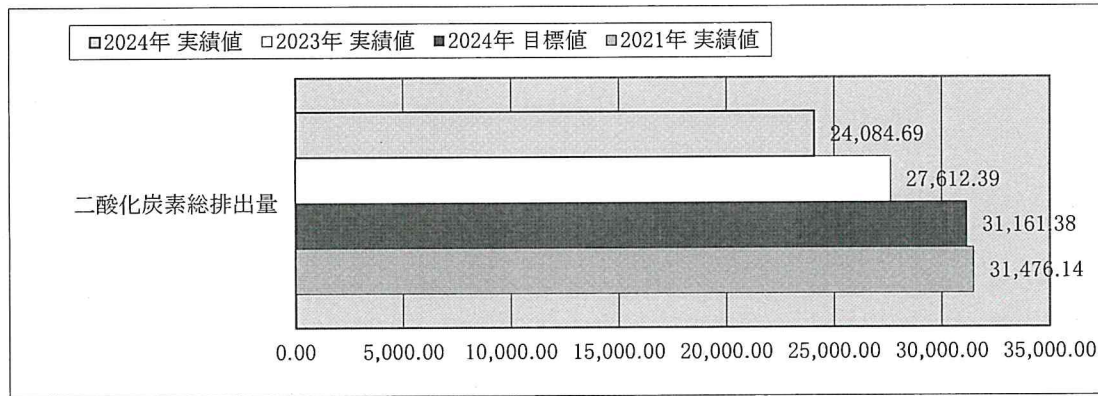
役割、責任、権限	
代表者 代表取締役社長	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境方針の策定、環境経営システムの評価と見直しと必要な指示。 ・環境経営目標、環境経営計画を承認。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画書を確認。 ・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告。 ・環境経営レポートを作成。
全従業員	・環境経営目標、環境経営計画の理解と、取組の重要性を自覚。 ・環境経営方針の遵守。

環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

項目	単位	2021年	2024年	2023年	2024年	2025年
		実績値	目標値	実績値	実績値	実績値
電力使用量	kWh	33,208	32,876	27,172	21,202	
原単位	kWh/万円	4,843	4,795	3,287	2,576	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	15,939.84	15,780.44	13,042.56	10,176.96	
灯油使用量	ℓ	950	943	1,361	1,577	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,365.50	2,341.85	3,388.89	3,926.73	
ガソリン使用量	ℓ	1,781	1,763	468	558	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,131.92	4,090.60	1,085.76	1,294.56	
軽油使用量	ℓ	3,361	3,327	3,781	3,268	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8,671.38	8,584.67	9,754.98	8,431.44	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	31,476.14	31,161.38	27,612.39	24,084.69	
水使用量	m ³	95	94	89	74	
ダンボール古紙	t	52.6	52.1	51.8	40.8	
ダンボール古紙排出量	%	17.3	17.1	18.1	16.1	

・電力使用量の二酸化炭素排出量係数は中部電力㈱の2016年の調整後排出係数0.480(kg-CO2kWh)を用いて算出しています。
・二酸化炭素総排出量24,084.6は液化石油ガス(LPG)255.00kgを含めています。





取組結果とその評価

取組事項	取組内容	取組結果
電力使用量の削減	・休憩時の消灯 ・作業環境を整え作業効率の向上 ・使用外の機器の電源オフ ・機器のスピード調節による電力消費を抑制 ・毎月一回コンプレッサーのフィルターを清掃	○ △ ○ ○ ×
ガソリン、軽油、灯油使用量の削減	・配送ルートの効率化 ・エコドライブの徹底 ・車両の燃料使用量の月別測定 ・暖房使用時の適温化（暖房20度程度）	△ △ × ○
ダンボール古紙排出量の低減	・分別、リサイクルの徹底 ・ダンボールシートの適正な管理 ・製品ミスの低減	○ △ △
水使用量の削減	・節水の呼びかけ ・こまめに蛇口を開閉し節水に努める	○ ○
グリーン購入の実施	グリーン購入可能な事務用品の購入	○
工場内外の清掃、美化に努める	・工場内の清掃及び機械の点検、清掃、注油 ・作業終了後の生理整頓 ・一般廃棄物の分別を徹底	△ △ ○
取組結果		
○	おおむね取組ができている。	
△	おおむね取組ができているがさらに取組が必要である。	
×	取組が不十分である。	

評価

電力使用量の削減

- ・昨年度工場内照明にLEDを導入し、使用量減少の一因となっている。
- ・その他、機械の立ち上げ、運転時のスピード調節で使用量抑制に努めている。
- ・ガソリンは、社有車が1台となり、配送には使用しないため減少傾向。
- ・軽油はトラックとバンの2台分の燃料となり配送における使用量も増え、基準年との業務内容や配送量が異なるため使用頻度も増える。
- ・暖房時の灯油使用は適温化に努めている。

ダンボール古紙排出の低減

- ・製作段階の製品ミスは低減に努め取組継続。

水使用量の削減

- ・節水により削減目標達成。

グリーン購入の実施

- ・再生紙などの環境に配慮した事務用品を活用。

工場内外の清掃、美化に努める

- ・機械の点検、清掃、注油はチェックシートを活用。
- ・一般廃棄物の分別は徹底されている。

次年度の環境経営計画

1. 電力使用量の削減

- ・ 休憩時の消灯
- ・ 作業環境を整え作業効率の向上
- ・ 使用外の機器の電源オフ
- ・ 機器のスピード調節による電力消費を抑制
- ・ 毎月一回コンプレッサーのフィルターを清掃

2. ガソリン、軽油、灯油の使用量の削減

- ・ 配送ルート効率化
- ・ エコドライブの徹底
- ・ 暖房使用時の適温化(暖房20度程度)

3. ダンボール古紙排出量の低減

- ・ 分別、リサイクルの徹底
- ・ ダンボールシートの適正な管理
- ・ 製品ミスの低減

4. 水使用量の削減

- ・ 節水の呼びかけ
- ・ こまめに蛇口を開閉し節水に努める

5. グリーン購入の実施

- ・ グリーン購入可能な事務用品の購入

6. 工場内外の清掃、美化に努める

- ・ 工場内の清掃及び機械の点検、清掃、注油
- ・ 作業終了後の整理整頓
- ・ 一般廃棄物の分別を徹底

7. 化学物質の適正使用に努める

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、訴訟などの有無

1. 主な環境関連法規

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 振動規制法
- ・ 騒音規制法
- ・ 自動車リサイクル法
- ・ 中野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・ 岳南消防組合火災予防条例
- ・ グリーン購入法
- ・ 電気事業法施行規則第52条第2項
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 中野市環境保全及び公害防止に関する条例
- ・ 廃棄物の適正な処理の確保に関する条例<長野県>
- ・ フロン排出抑制法

2. 違反、訴訟などの有無

環境関連法規の違反は無く、訴訟等についてもありませんでした。
行政からの指導、近隣からの苦情などありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

昨年度、工場内照明に LED を導入し電力使用量減少の一因となっていますが、
年々、仕事量が減少傾向の中、目標達成とするには疑問が残るところではあります。
特に環境マネジメントシステムに問題があるとは思いませんが、
今後も継続して取り組み事例など参考にしながら不良の削減・作業効率のアップ・その他の
目標が達成出来るよう努めたいと思います。

2025 年 1 月 7 日

有限会社 湯本紙器製作所

代表取締役社長 山本建次

次年度の環境経営目標

次年度2025年は、基準値より、1.5%削減目標とする。

項目	単位	中期目標			
		基準値	2023年	2024年	2025年
		2021年実績	0.5%削減	1%削減	1.5%削減
電力使用量	kWh	33208	33042	32876	32710
原単位	kWh/万円	4843	4819	4795	4770
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	15939.84	15860.14	15780.44	15700.74
灯油使用量	ℓ	950	945	943	936
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2365.50	2353.67	2341.85	2330.02
ガソリン使用量	ℓ	1781	1772	1763	1754
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4131.92	4111.26	4090.60	4069.94
軽油使用量	ℓ	3361	3344	3327	3311
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8671.38	8628.02	8584.67	8541.31
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	31476.14	31318.76	31161.38	31004.00
水使用量	m ³	95	95	94	94
ダンボール古紙	t	52.6	52.3	52.1	51.8
ダンボール古紙排出量	%	17.3	17.2	17.1	17.0